



各運動部の 活躍に期待

**会津北嶺高校 体育館の床がリニューアル
色はスクールカラーのライトグリーン**

会津北嶺高校では、着工から約1ヶ月を経て、9月13日に同校体育館の床の全面改修工事が無事終了し、色はスクールカラーのライトグリーンとなった。

「今回の改修は床表面だけでなく、その土台となる大引・根太と呼ばれ

る部材を含めて全面的に行い、下地材に丈夫な鋼材（大引鋼・根太鋼等）を使用し、ミリ単位の精度の調整によって床全体の弾力性を安定させることを目指しました。表面は木製ではなく、特殊発泡によって高い衝撃吸収性を持つ弾性シートを使用していることで膝や腰への負担を軽減でき、老人保健施設や保育園等の施設内でも使用されている抗菌仕様の素材となっています」と石山校長。

また、「日頃の体育の授業での身体への負担を軽減できますし、2年連続で県大会に出場を果たしたバスケットボール部をはじめ、各運動部の皆さんのさらなる活躍にも期待しています」と。

なお、同校では2022年の100周年関連事業として、2024年に中高一貫校化や体育館の床の改修、75型の電子黒板の全クラス導入、遠征用大型バスの購入、新校舎計画等を段階的に進めている。